



あ
や
け
あ

2018 MAR
No.8

摂南大学広報誌

特集

- 学生の活躍にクローズアップ！
 - 経済学部植杉教授ゼミ……………P.03
- 就カツ
 - 「就カツ」保護者セミナー……………P.14
 - 就職内定学生紹介……………P.14

学長挨拶



学長 八木 紀一郎
Yagi Kiichiro

昔は大学という「象牙の塔」と言われ、社会から隔絶した世界のように思われたものですが、今は違います。高等教育の普及とその内容の拡大とともに、大学は社会と緊密に結びつくようになり、社会からも、地域の中心になってほしいと要望される存在になりました。

現在では、大学の責務に教育、研究と並んで社会貢献が加わっています。各大学は地域を基盤とし、学生、教職員、社会の方々と一緒になって活動を行い、三つの責務を果たそうとしています。本学には、PBL (Project Based Learning) という科目があり、社会における具体的な課題解決に向けたプロジェクトを学生自身が実施し学修しています。本学では、先駆的にこうした学生主体の教育学修に取り組んできました。また、2016年度からは「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」を設置しています。これは地域の現状や課題を認識し、主体的に関わることの重要性を理解するとともに、課題解決に必要な基礎知識の習得を目指す教育カリキュラムです。さらに、このような正課のPBLや副専攻課程だけでなく、課外活動やボランティア活動として取り組んでいる社会貢献活動も多数あります。

和歌山県すさみ町では、10年近くにわたり、本学の学生たちが過疎集落での見回りや伝統行事復活、また町を挙げて開催するイベントの支援などを続けて

おり、その活動が町の人々に親しまれています。同県由良町の地域活性化にも取り組んでおり、和歌山県のバックアップのもとに「大学のふるさと」事業として、この2町との活動は年々発展しています。その中で、参加した学生たちは、地域のひととの温かい交流を経験しています。

本学が立地している北河内地域でも、多くのPBL活動やゼミ活動、ボランティア活動を展開しています。例えば、この地域の水系に着目した水辺活動、都市密集地域での防災活動、夏祭りやイベントの支援、子どもたちの見守り活動や学習支援、スポーツによる交流活動や地域保健活動、地域特産品の開発等々と、挙げていけばきりがありません。

これらの活動では、学生たちの学修中の知識、指導にあたる教員の専門知と、地域の人々の有している生活知・職業知が交流し合います。時にはすぐに理解し合えないことが起こるかもしれませんが、それぞれが学習のきっかけです。学生たちにとっては、世代を異にする人々、異なる生活背景を持つ人々と協働できるようになる貴重な機会です。

そのような活動の経験を生かして地域の行政や産業振興を仕事にする卒業生も生まれました。そうした職業選択をしない場合でも、学生時代に地域貢献・社会貢献の活動を行うことは、人間としての幅を拡げることになります。協働して学習する力こそ、日本の将来を支える力です。本学は、学生を中心にした地域貢献・社会貢献の活動を、今後とも奨励し支えていく方針です。

index



2020年4月の農学部開設(設置構想中)に向け、年末年始に梅田駅周辺で広報活動を展開。

阪急梅田駅ムービングウォークにも登場!
(2017年12月~2018年1月)

学長挨拶	02
学生の活躍にクローズアップ!	
経済学部植杉教授ゼミ	03
学部長挨拶	02
経済学部の特色ある取り組み	
交流事業	05
環境保全	06
学生生活	07
学部 Topics	
法学部・外国語学部	09
経済学部・経営学部	10
理工学部	11
薬学部・看護学部	12
情報教育支援・研究支援	13
就力ツ	
「就力ツ」保護者セミナー	14
就職内定者インタビュー	14
後援会	18
奨学金・学費免除ほか	19

学生の活躍に クローズアップ!

経済学部 経済学科

「地域活性化」をテーマに、 輝かしい成果の数々!

独自の切り口で、地域が抱える課題の解決に挑む学生たち。その取り組みが、学外からも高い評価を受けています!

「第13回日銀グランプリ」で最優秀賞!

昨年11月23日、日本銀行本店で開催された「第13回日銀グランプリ」キャンペーンパスからの提言「決勝大会で、3年次生4人による「健康通貨」WREC(レック)」地域の魅力も「一歩」からの」の発表が見事最優秀賞に輝きました。

これは、地域住民がウェアラブル端末を装着して運動することで健康地域通貨が得られ、地域経済の活性化につながるというもの。

WRECの構想は、長谷川由佳さんの『高齢者の運動促進』、上山耕平さんと金光寛樹さんの『C-CRC(※)』、そして、篠原七々実さんの『地域のブランディング』という異なる視点からのアプローチが合わさり、生み出されていきました。つまり、住民が健康で豊かになり、医療費が抑制されるほか、地域の金融機関や事業者の参画により地域に



表彰式後、審査員と記念撮影

資金が循環。さらには、「最新技術による健康地域」というブランディングにより、地域外からの移住促進が図れるという多くのメリットをもたらす地域活性化案なのです。審査員長の岩田規久男日本銀行副総裁からも、「好循環型の仕組みのサイクルは高く評価できる。今後はウェアラブル端末の導入コストや、運動量と地域通貨の交換比率などについて調査し、実行性の検証を進めてほしい」と講評いただきました。メンバーは、在学中に提案の精度を高めるべく、意気込みも新たにWRECの研究に取り組んでいます。

※高齢者が元気づちから地方に移住し、医療や介護が必要になれば継続的なケアが受けられる地域共同体。



植杉大教授ゼミ

「金融」「観光」「震災復興」などの視点から地域活性化に取り組む。現場での学びを重視し、今回紹介するいずれのテーマも現地調査を実施。調査結果を徹底的に分析・議論して施策にまとも上げていく。ゼミ生の縦のつながりが強く、今回の3年次生の活躍も、4年次生のアドバイスと卒業生の実績が大きくな後押しとなった。

事例やデータ集めを行い、論拠を確かなものとしていきました。地域通貨はまだ成功事例が少なく苦労しました。

プレゼン資料の作成を担当。視点の異なる4人が話し合う中で、新たなアイデアがまとまっていきました!

全体の統括・論文とプレゼンの原稿を作成。全員で意見を交わし、認識を一致させることが最も大切だと感じました。

運動量と医療費削減の相関関係の分析とデータ集めを担当。回帰分析についても一から勉強しました!



上山 耕平さん

金光 寛樹さん

篠原 七々実さん

長谷川 由佳さん

日銀グランプリとは?

日本銀行が「わが国の金融への提言」を課題として主催する、学生のための小論文・プレゼンテーションのコンテスト。第13回は、全国39大学、計112編の応募から選ばれた5チームが、決勝大会でプレゼンテーションを行った。

産学連携ツーリズムセミナーとは？

日本観光振興協会主催、学生による観光振興のアイデアや研究を競うコンテスト。全国27チームの応募から書類審査を通過した7大学8チームが発表。プランのチャレンジ性、オリジナリティ、実現の可能性などを競い合った。

スライドの音やアニメーション、目線や身ぶり手ぶりにもすべて意味を持たせ綿密に準備しました

上左から
山本 優志さん、川口 太聞さん、
下左から
小倉 颯真さん、中村 優希さん、
横川 広樹さん

「2017年度産学連携ツーリズムセミナー」で最優秀賞！



昨年9月22日、東京ビッグサイトで開催された「2017年度産学連携ツーリズムセミナー」で、『キャッシュレスで『観光』と『地域』を元気にする』観光マーケティング重視から『観光ファイナンス』へ』の発表

が初の最優秀賞を受賞しました。

地方では、外国人観光客が増えているのに両替・クレジットカード決済機能導入が進まず、十分に消費してもらえないという問題が起きています。そこで「地域決済会社設立」「QRコードによるモバイル決済システム導入」「ビットコイン活用による送金手数料負担軽減」を融合した「地域経済システム」を提案。観光マーケティングを超えた「観光ファイナンス」の重要性を訴えました。当日は、プレゼンターを務めた久保田 稜・日本観光振興協会副理事長から「非常に良い発表でした。ベンチャー起業のモデルを模索してビジネス化すれば広く地域で活用できるのではないかと評価を受けました。」



気仙沼市を訪問した際のディスカッションの様子



「気仙沼市震災復興・観光復興」活動で、出張屋台村を提案！

植杉ゼミでは、2012年より東日本大震災復興事業の調査・研究を行っており、昨年8月にも、3年次生が気仙沼市を訪問し調査を実施しました。そこで、閉村した「復興屋台村・気仙沼横丁」を関西で出張屋台村として復活させる、学生たち発案のアイデアについても、商工会議所や市の観光課、水産課、震災復興企画課の方とディスカッションしました。賛同いただくとともに神戸市の南京町の紹介を受け、10月には南京町で内容改善のためのアンケートを実施。神戸市開港・南京町誕生150周年記念の一環として、神戸と気仙沼の復興の歴史と特産品を発信する出張屋台村イベント開催に向けて奮闘中です。

「実際に訪問し、震災が想像よりもはるかに重いものだったことを痛感し意識が大きく変わった」と高野凌嗣さん。神戸市と南京町への実施計画のプレゼンも行い、現在は準備に取り組む毎日です。

左から
音瀬 治寛さん、森 俊人さん、
濱 伊織さん、高野 凌嗣さん



SNS広告を和歌山県由良町の観光を支援

2014年に、由良町と「大学のふるさと」協定を締結して以来、植杉ゼミでは継続して現地を訪問し、調査・研究を行ってきました。

今年度は、観光発展支援の施策として、生活者行動モデルSIPS（共感↓確認↓参加↓共有↓拡散）の定義にもとづくSNS開設に取り組んでいます。昨年12月には同町を訪問。町の観光課や事業者の方々から大いに評価いただき、ツイッター上でのプレゼントや、ゆるキャラ「ゆらの助」を活用したイベントなどの企画を進めています。

左から
田中 麻由さん、馬場 侑里花さん、
小谷 勇斗さん





摂南大学の特色ある取り組み

交流事業

地域交流

地域連携型公開講座

大人のフィールドワーク

を開講

「歴史・文化」「ブランディング」

「健康」をテーマに

Exchange Program

2017年度から地域の方々を対象に、地域との連携による北河内の地域資源を知るためのフィールドワークを組み込んだ公開講座を新規に開講しています。

この講座は、「地域づくりの支え手、担い手の育成には生涯学習の機会が重要である」との考えに基づくもので、アクティビティに参加しながら学ぶ体験型講座である点が最大の特徴です。

今年度は、「歴史・文化」「ブランディング」「健康」をテーマに、全3回の日程で実施。

「主体的に学ぶ楽しさ」を参加者の皆さまに感じていただくきっかけを提供できたことに加え、講師役を務めた学生にとっても貴重な学びの機会となりました。

本学では、今後も教育・研究成果を社会に広く還元し、地域社会とともに新しいものを創出する「共創の活動」を積極的に展開していきます。



第1回講座

開催日	テーマ	講座名/講師	概要
第1回 11月4日	歴史・文化	見たい!知りた!確かめたい! 交野歴史ツアー 外国語学科 赤澤春彦准教授・ゼミ生	交野市星田地域を対象に、北斗七星降臨の史跡や星田妙見宮、徳川家康ゆかりの地などを散策。
第2回 11月25日	ブランディング	「おうどん」のブランド戦略 —恩地食品の挑戦— 経営学科 鶴坂貴恵教授	大阪の食文化を代表する「おうどん」。恩地食品(株)の取り組みから、ブランディングについて考える。京都工場見学と試食会も実施。
第3回 12月9日	健康	健康寿命を延ばすための 面白健康学 スポーツ振興センター 藤林真美准教授・学生	平均寿命と健康寿命の違いを知り、筋力維持と柔軟性をキーワードに健康な体づくりのちょっとした工夫を知る。



第2回講座



第3回講座

大変好評でした。

「新しい試みに期待大です。今後もこのような催しを続けてください」などの声が聞かれ、お話ししていただきありがとうございます。

「ぜひ来年度もお願いしたい」、「難しい話を分かりやすくお話ししていただきありがとうございます」

「新しい試みに期待大です。今後もこのような催しを続けてください」などの声が聞かれ、お話ししていただきありがとうございます。

この講座は、教員の知的資源を生涯学習に活用する市民対象の公開講座を企画していた理工学部と、より多くの方の利用を目指す同図書館の思いがマッチして実現しました。

理工学部が 寝屋川市立図書館と 連携講座を開催 「サイエンスカフェ」

熱心に聴講する参加者(第2回講座)



開催日	講座名/講師	概要
第1回 8月30日	免疫—生命を守り、生命を脅かす仕組み 生命科学科・尾山廣教授	炎症、ワクチン、アレルギーなど身近な話題から、免疫の仕組みについて理解を深める。
第2回 11月22日	人にやさしい介護ロボット—進化する福祉工学の世界— 機械工学科・川野常夫教授(理工学部長)	最新の介護ロボットについて映像を交え学ぶとともに、人が体を動かす時に電気信号が発生する様子も体験。
第3回 12月6日	避難所への道が通れない?! 大地震後の道路閉塞を考える ～私たちができること～ 住環境デザイン学科・榎愛准教授	講演に加え、災害時の対応や課題について考えるワークショップも実施。
第4回 1月10日	地域に眠る昭和の建築資源～香里園・八木邸～ 建築学科・加嶋章博教授	寝屋川市に現存する歴史的な木造建築についての解説。ゼミ生制作の精密な八木邸模型も登場。



国際交流

海外体験で魅力ある人に

海外体験には、「生きた言語が学べる」、「現地や他国からの学生と交流し多様性や柔軟性を養える」、「異文化を知り人間的な幅が広がる」など多くのメリットがあります。

国際交流センターでは、交換留学や語学研修、文化体験など多様な海外派遣プログラムを用意しています。多くの実績があり、大学が費用や準備をサポートするので、安心して参加できます。協定校との交換留学は半年から1年間の実施で、留学先の学費が免除されます。夏や春の休暇中に短期で実施する、カナダ・台湾・韓国・タイ・インドネシア、メキシコ、フィリピン、サイパンなどへの語学研修・文化体験プログラムもあります。

学生時代の今こそ、海外で自分を磨く絶好のチャンス。実り多い学び、驚きの体験感動の出会い、美しいシーンとの遭遇が待っています。有意義な体験は就職活動にも生かすことができます。さあ、思い立ったら国際交流センターへどうぞ。すぐに海外に行かなくても、学内の外国人留学生と触れ合えるイベントもたくさんありますよ。

での研究する
ナゲ修了した
力語修了した
手学



Environmental Protection

環境保全



キャンパスを
彩る
ツリーたち♪

寝屋川キャンパスに エコペットボトルツリーが 点灯

昨年12月6日、寝屋川キャンパスに、ペットボトルでできたクリスマスツリー2体が点灯しました。これは、学内の環境改善に取り組んでいるCCS(キャンパス・クリーン・サポーター)が、環境への取り組みに関する理解促進を目的として初めて作成したものです。使用済みの2リットルと500ミリリットルのペットボトル約350本を使用してツリーを組み立て、16色に変化する電飾には消費電力を抑えたLEDを使用しました。

6日16時30分に点灯式が行われ、2体のツリーが薄暗くなり始めたキャンパスを明るく照らしました。このペットボトルツリーは12月25日まで、正門付近で展示しました。

キャンパス クリーンサポーターが 廃油をリユース くせつけん作りに挑戦

昨年11月25日、CCS(キャンパス・クリーン・サポーター)が学内の食堂から出た廃油を有効活用することを目的として、せつけん作りに挑戦しました。

4時間の作業を通して、約3.4リットルの廃油から34個のせつけんを作りました。参加したCCSメンバーからは、「捨てるものを使えるものに変えることができる、すごくうれしい!」

「廃油からせつけんが作れるということをもっと皆さんに知ってもらいたい。完成してみんなに使ってもらえるのが楽しみです」と、感想の声が寄せられました。

廃油を
計量!



ISO14001 更新審査・移行審査に 合格

2017年11月14日から17日までの4日間、ISO14001の認証更新審査および新規格への移行審査が実施されました。今回は2015年1月に認証を取得してから初めての更新審査であり、また、2015年9月15日に改正された新たなISO14001:2015版への移行審査でした。

更新審査は、マネジメントシステム全体としての継続的な適合性および有効性、ならびに認証の範囲に対する適切性を審査するものです。また、移行審査は、ISO14001:2015版に基づいて現行マネジメントシステムを見直し、要求事項を満たしているかどうかを審査するものです。

今回の更新審査および移行審査では、登録されているマネジメントシステムならびに適用規格であるISO14001:2015版の中で改善指摘事項はなく、いずれも合格となりました。

審査にあたっては、次のような活動が「グッドポイント」として高く評価されました。

- 学生ボランティア活動団体CCS(キャンパス・クリーンサポーター)が行ったゴヤカーテンの設置
 - 課外活動団体エコビル部が地域と連携して行った寝屋川市内の河川・水辺の保全活動(「第10回いい川・いい川づくり公開選考会」にて受賞)
 - 密集市街地の住民対象のGIS(地理情報システム)活用による避難ルートの確認(大阪府から感謝状授与)
- 学部では、環境に係る教育訓練の有効性を評価するため、担当教員によるゼミ室など退出時の消灯、上下階への移動時の階段優先、ごみの分別などの実施チェックを行っています。紙・ごみ・電気の削減はもちろんですが、摂南大学では学生の皆さんが環境マインドを常に意識し、卒業後もその意識が継続していくことを期待しています。教職員一同も日々環境マインドを心掛けていきます。

学生生活

常翔学園3大学

課外活動団体交流戦・交流会を開催!

常翔学園3大学(摂南大学・大阪工業大学・広島国際大学)の課外活動団体による体育会交流戦・文化交流会を実施しました。

体育会は、昨年7月1日と2日に、摂南大学・寝屋川・枚方キャンパス、大阪工業大学大宮・枚方キャンパスで実施し、各試合会場で熱戦を繰り広げました。

文化会は、11月18日と19日に、大阪工業大学梅田キャンパスの「常翔ホール」で音楽演奏やパフォーマンスを繰り上げ、会場を大いに盛り上げました。会場ロビーでは芸術系クラブによる作品展示を行い、日頃の活動成果を披露しました。

摂南大学からは体育会・文化会計38団体、616人(3大学合計111団体、1253人)が参加し、多くの学生が交流する有意義な機会となりました。



交流会戦後の記念撮影。交流を深めました。



交流会後の記念撮影。深い絆が結ばれました。

大学祭にぎわう!!

第43回棋友祭

テーマ

「NEXT(ネクスト)」

10月7日(土)〜9日(月・祝)

in 寝屋川キャンパス

第6回棋友祭

テーマ

「棋友9 (ROCK)FES」

10月8日(日)

in 枚方キャンパス



でがりました! 盛り上げました!

学生と教職員の一大イベント第43回摂大祭を昨年10月7日〜9日に寝屋川キャンパスにて、第6回棋友祭を10月8日に枚方キャンパスにてそれぞれ開催しました。いずれも、学生、卒業生、教職員、保護者、地域の方々など、多数の来場者が集う活気に満ちた祭典となりました。摂大祭には3日間で約7000人、棋友祭には約2500人が来場しました。

摂大祭では、恒例となった「Ms.&Mr. UNIVERSITY of SETSUJAN COLLECTION(セツジャンスコレクション)」が、今回より学生団体SGP(Gesujan Girls Press)協力のもと開催され、会場は応援に駆け付けた学生の熱気に包まれました。

さらに、各課外活動団体が演奏や発表などで日頃の成果を披露したほか、PBL中間報告会などの多彩なイベントも行われ、工夫を凝らした模擬店も多数出店するなど、大いに盛り上がりました。

また、昨年度に引き続き「摂大工コ&スマー ト大作戦(エコスマ)」も展開しました。摂南大学が推進する持続可能な社会実現への取り組み「Smart Campus」の一環として、模

店において商品をリサイクル食器で提供し、トレー4770枚分の廃棄物を削減することができました。

さらに、吉田沙保里選手(レスリング五輪メダリスト)による講演会を開催しました。

摂大祭では、連携病院など医療関係機関との協力により、医療系大学の特徴を活かした学園祭が実現しました。枚方市保健所協力のもとにボランティア部じよいふるが実施した「HIV予防啓発活動」では100人以上の来場者があり、大阪府赤十字血液センターによる「学内献血」では昨年度を上回る76人の協力がありました。

また、「健康体操」や、中・高校生を対象とした「ブレナース体験」、枚方公済病院による「心肺蘇生法講習会」も大盛況で、恒例の「健康フォーラム」にも多数の来場者がありました。

さらに今回は、星ヶ丘医療センターの助産師による、マタニティヨガをはじめとした「マタニティ相談会」に、90人以上の方が親子や家族そろって参加され、大変好評でした。

このほか、看護学部にてホームカミングデーを開催しました。

連携機関ならびに地域の皆さまの協力を得て、今年度も学生たちにとって有意義な経験となる大学祭を実施できました。



模擬店にぎわう!(棋友祭)

から受けたい学生スライム選手会バサ花吉



摂大祭 特別講演会

「夢を追いかけて見なきゃ掴めない夢がある」



レスリング界のレジェンド

吉田沙保里選手が学生にメッセージ

摂大祭では、アテネ、北京、ロンドンオリンピック3大会連続で金メダルを獲得し、世界大会16連覇を達成したレスリング界のレジェンド・吉田沙保里選手を講師に迎え、特別講演会を開催しました。

ユーモアあふれる語り口で、レスリングを始めたきっかけや落ち込んだ時の対処法など、トークショー形式の質問に答える吉田選手。学生に「夢を持って人生を生きてほしい」とメッセージを送ってくれました。



資格サポートセンター

学生の皆さんの就職活動や将来をサポートするため、資格取得についての相談や資格対策講座を開講しています。講座は学内において比較的安価で受講できるので、効率よく学ぶことができます。資格取得のために積み重ねた努力や経験は、皆さんの財産となり自信にもつながります。在学中にぜひ挑戦してみてください。



リテールマーケティング(販売士) 検定講座 3級/2級

流通業界唯一の公的資格!

流通業界の基礎知識はもちろん、販売に必要なマナーも学べます。百貨店・スーパー・小売業などを希望する人にオススメの資格!

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
【3級】¥25,000	【3級】¥4,120
【2級】¥33,000	【2級】¥5,660

ファイナンシャル・プランニング 技能検定講座 3級

金融業界を目指す人は必須!

金融知識をベースに顧客の資産を見直し、経営状態を把握してトータルに資産運用をアドバイス。金融業界では取得を義務づける場所も!

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
¥22,590	¥6,000

国内・総合旅行業務取扱管理者 試験対策講座

旅行業界の国家資格

ツアーの企画や手配・予約・計算など、旅行業務全般の管理ができる資格。旅行会社は各営業所に有資格者を置く義務があり、取得すると大きなアピール要素に!

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
¥66,675	【国内】¥5,800
	【総合】¥6,500

Microsoft®Office Specialist Word/Excel®講座

本学人気NO.1資格!!

国内受験者数は累計360万人以上。就職活動はもちろん、社会人としてもパソコンスキルは今や必須です。早めに身につけておきましょう。

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
【Word】¥22,760	【Word】¥8,424
【Excel®】¥22,760	【Excel®】¥8,424

秘書検定講座2級

ビジネスの常識を習得

ビジネスの基本知識を習得できる、男女問わず人気の講座。敬語や電話対応、名刺の受け渡し方、社会人としてのマナー、一般常識から企業の仕組みや企業会計など社会人としての基礎知識が身につきます。

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
¥18,490	¥4,100

公務員試験対策講座

国や地域の行政 サービスを行う仕事!

公務員には行政の仕事(国家公務員から地方公務員まで)や警察官・消防官など、多様な種類があります。早期からの対策が必須!

受講料(教材費・税込)
【1年次対象(筆記試験対策)コース】¥16,000
【1年次対象(面接・論文対策)コース】¥16,000
【2年次対象コース】¥42,200
【3年次対象(基礎能力試験(SPI)対策)コース】¥44,000
【3年次対象(国家一般職地上公務員)コース】¥136,900
【3年次対象(市役所)コース】¥67,000
【3年次対象(警察・消防)コース】¥67,000
【3年次対象(技術職)コース】¥78,300
【3年次対象(土木職)コース】¥98,900

簿記検定講座3級/2級

金融業界では基本の資格

業界不問!会計知識とコスト感覚はあらゆる業種・職種で必要とされます。会社の収支の流れが数字で分かり、決算書なども学習できます。

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
【3・2級コース】¥79,400	【3級】¥2,800
【3級】¥24,600	【2級】¥4,630

TOEIC®L&R TEST対策講座 500点目標

世界共通基準で英語力を証明

世界約150カ国で実施。合格ではなくスコアで評価されます。グローバルに活躍できる人材は企業から高く評価されています。

受講料(教材費・税込)	公開テスト(税込)
¥22,650	¥5,725

宅地建物取引士試験対策講座

不動産業界の国家資格

不動産取引に不可欠の資格。不動産業の各事業所で5人に1人は有資格者を設置する必要があるため、同業界希望者には取得をお薦めします。

受講料(教材費・税込)	受験料(税込)
¥64,000	¥7,000

場所 寝屋川キャンパス5号館1階
開室時間 10時~18時(日・祝日および大学休業日は閉室)

お問い合わせ先

TEL 072-812-6006
Mail setsunan@josh-shikaku.jp
URL <http://josh-shikaku.jp/setsunan/>



「全国大学ビブリオバトル」
全国大会に
3年連続出場の大快挙!

図書館では「ビブリオバトル」の普及を図っています。これは発表者(ハトラー)がそれぞれお薦めの本を5分間で紹介し、観戦者が一番読みたくなった本を選んでチャンプ本を決める「知的書評合戦」と呼ばれるものです。このイベントに今年度は、図書館学生サポーターでもある新谷勇馬さん(経営学科4年)が参戦。「勇者たちへの伝言」(増山実著・ハルキ文庫)を紹介して、予選地区決戦と勝ち進み、見事「首都決戦」(全国大学の決勝戦)出場を決めました。これで本学は3年連続全国大会出場の快挙となりました。

首都決戦にて、ステージ中央が新谷さん。





法学部

1年次ゼミで自校史教育
「常翔歴史館」を見学

法学部では初年次教育の一環として、「法学基礎演習」(1年次ゼミ)の時間を活用して毎年、裁判所や学習支援センター見学、SPI模擬試験など、さまざまな実学教育を取り入れていきます。これら定例行事に加えて今年度は「建学の精神」の原点を知る自校史教育として、大宮キャンパスにある常翔歴史館の見学を全1年次生対象に初めて実施しました。施設の受け入れ人数に制限があるため、2ゼミずつ交替で学園マイクロバスを利用して校地間を往復し、昨年9月から11月まで延べ6日間11回訪問。益山新樹館長(大阪工業大学応用化学科教授)から解説を受けました。益山館長は、本学園が創設された時代背景や想い、卒業生の活躍などをひも



歴史館見学の様子



学園史を語る 益山館長

から11月まで延べ6日間11回訪問。益山新樹館長(大阪工業大学応用化学科教授)から解説を受けました。益山館長は、本学園が創設された時代背景や想い、卒業生の活躍などをひも

解きながら、「皆さんは常翔学園の一員であることに誇りを持ってほしい」と力説されました。期間中は、各設置学校の校歌などを展示する企画展も開かれており、学生らは普段訪れる機会のない大宮キャンパス施設の一端を堪能している様子でした。

卒業時の質保証に向けての取り組みとプレゼンテーション能力の向上、3年次生に対する卒業論文作成上の情報提供などを目的に、卒業論文合同発表会を昨年12月12日と13日、「専門演習II」(3年次ゼミ)の時間に初めて実施しました。14ゼミの学生が参加し、代表学生が研究テーマの要旨を1人10分にまとめ発表しました。4年次生は卒業論文の提出期限が間近に迫っていることもあり、また3年次生にとっては、次は自分たちの番!と、それぞれ真剣な面持ちで聴いており、質問の手が挙がりました。各発表内容は、学部で検討したルーブリック評価表を試行的に活用し、論点・問題点が明確か、結論が伴っているか、発表態度、時間配分など9項目に分けて審査し、会場の指導教員が相互評価を行いました。その結果、最優秀賞に大迫桜子さん(城内ゼミ)、優秀賞に木下亜美さん(小野ゼミ)と秋本友作さん(小島ゼミ)が選ばれました。



発表の様子

外国語学部



ANAのホスピタリティ業務を体験



空港の保全地区でインターンシップを行う3年生

外国語学部では、ANA総合研究所との提携により、ホスピタリティ産業での実践的な学習を行っています。2年次生が中部空港での旅客業務の就業体験と授業を組み合わせ、特別体験実習Aに参加しました。3年次生はさらに実践的な3種類の「ホスピタリティ・インターンシップ」を国内外で実施。ANAクラウンプラザホテル大阪でホテル業務を、ANA CarGoで航空貨物の現場を、ANA台北支店で海外の空港での業務を体験しました。(昨年8月~9月)

中国語専攻と英語専攻が夏の海外実習を実施

夏の海外実習(昨年8月~9月)で、中国語専攻は上海外国語大学へ、英語専攻はオーストラリアのサザンクロス大学へ行きました。約3週間の研修は「もつこの言語を勉強しようまくならない」という気持ちをかき立てるものだったようです。なお、2月~3月には、スペイン語専攻学生がスペインのアリカント大学にて海外実習を行っています。



第35回 全国中国語スピーチコンテスト 大阪府大会 朗読の部で3位

各専攻言語の語彙・暗唱や朗読・スピーチなどのコンテストを開催しました。学外

上海の暑さに負けずに海外実習中

では、昨年10月26日に開かれた第35回全国中国語スピーチコンテスト大阪府大会において、1年次生の速水智由さんが朗読の部で3位となりました。

英語ビブリオバトル開催

昨年12月21日に、初めて「Bibliobattle in Ooizumi」(英語ビブリオバトル)を開催しました。英語プロフェッショナルコースの3年次生10人が5分ずつ、薦めたい本について英語(原稿なし)で話し、質疑応答を行いました。参加者たちは留学後も英語で授業を受け、身につけた英語の運用力を発揮。今回の英語ビブリオバトルは、伝える楽しさと外国語使用のスキルが共存するライブ感満載のバトルとなりました。※ビブリオバトルは10年前に公式ルールが発表された京都の学生たち考案のゲームです。



初めての英語ビブリオバトル

国際教養セミナー開催

昨年12月17日、「東アジアの舞台芸術に学ぶ」と題し、大阪市立住まい情報センターで瀬戸宏教授による「京劇の魅力」、久堀裕朗先生(大阪市立大学大学院文学研究科教授)による「文楽の劇場いまむかし」竹本座から国立文楽劇場まで」の講演を実施しました。

文楽と京劇、東アジアの舞台芸術を学ぶ



1年次生が決選! 大阪府大会で3位入賞

経済学部

卒業研究論文発表会

1月19日、4年次生による『卒業研究論文発表会』を開催しました。各ゼミの指導教員から推薦された6チーム(計18人)が参加し、発表を行いました。学生らは大学4年間の集大成として作成した卒業論文を発表し、その内容は本学部教員・審査委員により評価され、各会場の中から最優秀賞・優秀賞・特別賞の3賞が選出され表彰を受けました。



ゼミ対抗 ブレゼンテーション大会

1月20日、学部恒例行事『ゼミ対抗ブレゼン大会(1年次〜3年次生対象)』を開催しました。



今年度は計19チームが参加し、2会場に分かれて1年間学習した研究成果をリレー形式で発表しました。テーマは、地域経済循環や地方創生、観光産業の行方、さらには日本企業の海外進出に関するものまで多岐にわたりました。学生らにとっては、日頃の学習成果を人前で発表するという、いつもと違った緊張感を味わいながら、今後の専門学習への意欲を高める機会となりました。

オリックス・バファローズ主催 「マーケティングブレゼン」

昨年12月2日、安次領太貴さん、副田羽美さん、芳倉咲美さん(いずれも2年)の3人が大阪商業大学で開催された「オリックス・バファローズ マーケティングブレゼンショー」で発表を行いました。これは、同球団と連携している4大学(摂南大・関西大・大阪商業大・阪南大)が、球団や自治体関係者に対し、球場観戦などの戦略立案に関する提案を行うものです。本学経済学部生が発表したテーマは「ALL摂南DAY学生企画チケットの発売」。学生自らが公式戦の企画チケットを考案し、その購入者に対して満足度調査を行い、分析結果を発表しました。



TOPICS

イタリヤ 海外研修を実施

2月6日〜12日、経済学部生11人が後藤和子教授と平野泰朗教授引率のもと、イタリヤのミラノ市とレッジョ・エミリア市で地域経済実践演習を実施しました。これは、ヨーロッパの地域経済を学ぶ目的で行われたもので、ミラノとその周辺は、ファッション、自動車、デザイン関係の産業に強く、さまざまな場所でヒアリングや見学を行うことができました。このほか、本学の協定校「U・L・M大学(ミラノ市内)」を訪問し、現地大学生との交流を深めました。



経営学部

「Entrepreneurship」 特別講演会を開催

1月15日、寝屋川キャンパスプラチアホールで経営学部「Entrepreneurship」特別講演会を開催しました。

この特別講演会は、学生の進路選択、修学意欲向上のための情報提供を目的とするものです。柔軟な発想でグローバルに活躍する同年代の新進気鋭の講師を学外から招聘することで、起業家精神を醸成し、共有価値の創造(Creating Shared Value)に向けた新しいビジネスモデルについて学ぶことを狙いとしています。

今回は、飲食予約サービスアプリ「テーブルクロス」を運営する株式会社テーブルクロス代表取締役の城宝薫(じょうほうかおる)氏(24)に、「利益の創造と社会への貢献が同時にできる文化」をつくる一をテーマにお話を伺いました。

城宝氏は2014年、当時大学3年生で会社を設立。アプリを利用し飲食店を予約すると、予約人数に応じた給食が途上国の子どもたちに届く社会貢献型グルメアプリ「テーブルクロス」を開発。「途上国でストリートフードを目的に、彼らのために何かできることはないか」という強い思いに駆られました。給食があれば、学校に通うきっかけになり、教育の機会喪失を防ぐことにつながるのではないかと。そんな思いから、この事業を始めました」と城宝氏。



また、実績・経験・情報のすべてがゼロからの起業だ。そのため、金融機関の融資担当者にも「なぜこの事業が必要なのか」を熱く訴えたと言います。「日本人の寄付率は米国のおよそ2%。この事業なら、日本人に合った持続可能な寄付モデルと利益を創造できるスキームが両立でき、国境を越えて世界につながる仕組みを構築できる」と当時のブレゼンテーションの内容をお話いただきました。

110人の参加者は、城宝氏の話に引き込まれ、真剣な表情で聞き入りました。講演終了後には、参加者から「起業家になるにはどうすればいいか」「若いうちに行っておくべき国はどこか」「事業を継続するうえで苦労していることはあるか」など、多くの質問が寄せられ、活発な意見交換の場となりました。最後に城宝氏は、「起業から4期を終え、今後は日本だけでなく世界でも通用するシステムを作っていきたい」と力強く抱負を語ってくれました。



理工学部

生命科学科

3年次生対象の学外演習
 ー民間企業や
 公的機関研究所での実習を
 通じて実践力を磨くー

生命科学科では、就職活動
 を間近に控えた3年次生を
 対象に、夏季休暇期間を利用
 して学外機関での実習を
 行う「生命科学学外演習」を
 開講しています。臨床検査
 会社、環境関連企業、食品
 会社などの民間企業や大阪
 府、京都市などの公的機関研究所の協力を得て、
 実際の現場での業務に携わります。実習内容は、
 飲料の機能性評価、農薬分析法の検討、香粧品の
 安全性調査など演習機関により多岐にわたります。
 学生にとつて、外部講師による指導を受け、
 急速に発展を続ける生命科学の最先端に触れる
 ことは、卒業後の進路決定に大いに役立つ貴重な
 体験です。また、生命科学科の講義や実習・演習
 での学びと、民間企業や公的機関の仕事内容と
 のつながりを実感することで、職業選択に向けた
 有意義なヒントをつかみ取っています。



2017年度の発表会

さらに、実習で得られた成果や体験について
 は、学内の発表会でプレゼンテーションを行いま
 す。2017年度は、昨年12月6日に1号館
 1階プレゼンテーションロビーにて、ポスター
 形式で行い、生命科学科の教員や学生だけで

なく、民間企業や公的機関研究所の外部講師の
 方々にも参加していただきました。発表した
 学生たちは、産官学の参加者から厳しい指摘や
 想定外の多様な質問を受けて、実践力を磨き、
 社会で活躍するための力を養いました。

テクノセンター

ねやキッズ2017で
 陶芸教室を開催

昨年11月19日、寝屋川市の打上川治水緑地で
 開催された「ワークタウンねや川ねやキッズ
 2017」寝屋川の子どもたちが主役のまち
 づくり」に、本学学生ボランティア8人ととも
 にブース出展しました。このイベントは、寝屋川
 青年会議所の主催によるもので、子どもたちが
 さまざまな仕事によって報酬を得る体験を
 通して、地域の人の関わりの中で主体性を
 育むことを目的としています。ブースでは、
 子どもたちが各種陶器(小皿・箸置き)の絵付け
 を体験しました。

イベント当日は、開始早々、子どもたちが本学
 ブースを訪れ、長蛇の列になりました。今回体験
 した子どもたちは100人で、ボランティア
 スタッフのサポートを受けながら真剣に絵付け
 をしていました。
 絵付けをした
 陶器は、本学で
 釉薬を塗り、窯で
 本焼を行ってから
 子どもたちに届け
 られました。



陶芸教室の様子

理工学部建築学科 木多 彩子 教授

「長期ロサンゼルス出張を終えて」



2016年9月から1年間、私は摂南大学の長期海外出張制度により
 米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (University of California,
 Los Angeles, UCLA) のLois M Takahashi教授の研究室に滞在して
 いました。UCLAでの所属先はラスキン公共政策大学院 (Luskin
 School of Public Affairs) の都市計画学科 (Department of Urban
 Planning) とAsian American Study Center (AASC) です。私はここ
 で講義に参加し米国の大学教育を学ぶとともに、アジア系移民を
 主とした多文化共生居住に関する調査研究に取り組みました。

UCLAは17の学部・大学院に約45000人の学生が在籍しており、
 優秀大学ランキングでは毎年全米で最上位に選ばれています。
 メインキャンパスは、米国で2番目に人口の多いLos Angeles市内
 の丘陵地Westwoodという地区にあり、Westwoodは世界中から
 集まった学生の街で若者の活気にあふれています。UCLAは文武
 両道の大学で、男子バスケットボールは何度も全米1位を獲得し、
 試合のある週末にはTV報道関係者をはじめ卒業生やLA市民の
 多くのファンがキャンパスに集います。

滞在中に私はLA大都市圏の都市計画を特徴づける講義に参加
 しました。講義は、知識の理解・演習と実務者を招いた講演や講評
 がセットになっており、特に今後の自動車技術の開発と都市計画

の課題や、民族の違いと社会心理についての講義が興味深かった
 です。教員は学生の丁寧な予習を促すように、授業中の質問の
 投げ掛け方を工夫していました。

また、研究活動の一環として、AASCが行ったLA市に居住する
 日系人の生活ニーズ調査に関わりました。LA市South Bay地区と
 隣接するOrange Countyは全米で最も日系人の多い地域です。
 日系人は銀行口座所有率や資産高平均値が他のどの民族よりも
 高く、安定した生活を築いている人が多いです。高齢化が進み
 健康医療関係の日本語英語併用サービスに対するニーズや、
 TOYOTA USA本社がSouth BayからTexasに移転したことに伴い
 新たな若い日本からの移住者を求める声が多く、日系人社会の
 課題を知る機会を得ました。

昨年11月の摂南大学海外情報交流サロンでは、学部・学科を
 越えた多くの学生に帰国報告をしました。新しい知識を目で見て
 実感するのはとても楽しいこと、他国の人と比べて日本人は勤勉
 で信用が高いこと、ぜひ、日本の外から自分を眺めてみてほしい
 こと、を伝えました。

最後になりましたが、本長期出張
 にあたりご支援ご協力いただいた
 皆さまにお礼申し上げます。帰国後
 は米国で学んだ大学教育や文化を
 教育活動に役立てたいと思います。



薬学部

本学は、ふるさとでの
病院・薬局実習を推進します

2019年度から改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づいた新しい病院・薬局実務実習が始まります。新しい実務実習では、安全・最適な薬物療法の提供だけでなく、これまで以上に地域の保健・医療・福祉への積極的な参加が求められています。本学では、地域に貢献できる薬剤師の育成の一貫として、生まれ育った地域の医療および医療提供体制を学ぶことができる「ふるさと実習」を推進しています。ふるさとを離れ、本学で薬剤師を目指している学生が「将来ふるさと」の発展に貢献したい」と希望すれば、生まれ育った地域で実習できる環境を整えていきます。

また、これまでより実習開始の時期が早くなり、4年次の2019年2月から、3つのグループに分かれて、薬局実習↓病院実習の順に実施します。これにより、薬局と病院が連携した実習を行うことになり、地域に貢献できる薬剤師の育成が可能となります。

大規模災害発生時を想定した
防災訓練を実施

昨年7月1日、枚方キャンパスにて大規模災害発生時を想定した防災訓練を実施しました。訓練には、352人の教職員と学生（薬学部・看護学部合同）が参加。法定訓練、各訓練参加者に役割（自衛保安隊として定める通報連絡班、初期消火班、避難誘導班、救出救護班、避難所支援班以外に災害対策

本部、避難者役）を与えた避難所運営訓練を行いました。さらに、今回の防災訓練では、被災対象者の健康状態の観察、判断、対応・処置、報告を行う救出救護活動訓練を取り入れたことで、より一層参加型の訓練となりました。



本学は、ふるさとでの
病院・薬局実習を推進します

受賞者続出！
学会発表で活躍する学生たち

薬学部の人材養成に関する目標は、「高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成すること」です。その目標を達成するには、自己研鑽に励み、授業・実習などにおける知識・技能・態度を高め、地域貢献などに努めることが必要不可欠だと考えています。

学会賞受賞者一覧

- 第57回日本先天異常学会学術総会
「ポスター賞」受賞
黒崎 拓也さん（学部6年）
- 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2017
「優秀ポスター賞」受賞
三羽 尚子さん（学部5年）
- 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会
「優秀ポスター賞」受賞
和田 梨沙さん（学部5年）、
畠中 祐弥さん（学部4年）
- 第40回フッ素化学討論会
「優秀ポスター賞」受賞
小川 風太さん（大学院4年）
- 第10回国際フロンティアゼ学会
「Travel Award」受賞
幅川 祐資さん（大学院2年）



看護学部

看護学部
学修支援室オープン



枚方キャンパス7号館3階に、看護学部学修支援室がオープンしました。本学部が目指す問題解決能力や実践能力を磨くには、専門知識の習得やグループ学習が欠かせません。学修支援室は、自分から学ぶ、仲間と学ぶ場として活用できるよう設備を整えた場です。

特徴の一つは、アクティブラーニングに適していることです。グラウンドに面した明るい空間に、おしゃれな可動式ラウンドテーブルを備え、無線LANにつながるノートパソコン、プレゼンに用いる機器を揃えました。また、自由に使えるイーゼルパッドや、カラフルな付箋もあり、学生たちがブレインストーミングや発表準備など、グループ学習に活用利用しています。

二つ目の特徴は、参考書を数多く備えていることです。専門科目・国家試験関連書籍をはじめ、教員からも多数の文献の提供を受け、充実度を増してきました。すでに延べ600人以上の利用があり、今後も看護学部の学習環境の向上に向けて活用されることを期待しています。開室時間は、月～金曜日の9時～20時、土曜日は9時～18時30分まで、予約不要。

看護学研究科
公開講座を実施

大学院看護学研究科は、昨年12月9日、地域医療研究センターと共催で、公開講座を開催し、約130人が参加しました。この講座は近隣病院等実習先の看護職者および本学看護学研究科生・看護学部生がこれからの看護職者の可能性を認識することを目的とするものです。

冒頭の八木学長のあいさつに続き、コロンビア大学とハーバード大学で医療社会学や公衆衛生学の研究に従事し、2012年から星槎大学で副学長として活躍されている細田満和子氏が講演。これからの看護職者に期待される役割、チーム医療についての解説があった後、自らの置かれた状況を理解し、能動的に行動することの大切さを述べられ、看護学を学ぶ学生へ向けた激励の言葉がありました。

また、同時に開催した大学院入学個別相談会では、大学院の授業内容や提出書類について熱心に質問する参加者の姿が見られました。



細田満和子氏の講演

WebBox上では提出フォルダの中身は
自分の置いたファイルのみが
リストアップされます。
保存先を間違えないように
注意してください。

WebBox

ドキュメント 教材・提出



自宅

情報処理室から
WebBoxへは
つながりません。

大学(情報処理室等)

WebBox <http://www.setsunan.ac.jp/~center/webbox/>

WebBoxは、自宅や研究室などのパソコンから、ドキュメント(個人領域)や教材・提出フォルダに接続するためのシステムです。

例えば、大学で途中まで作成していたWordのレポートをドキュメント(個人領域)に保存しておき、自宅のパソコンからWebBoxに接続しレポートの続きを作成したり、自宅で作成したExcelの課題ファイルをWebBox経由で教材・提出フォルダに提出したりすることができます。

USBメモリを用いてデータを移動などする場合には紛失や破損の恐れがありますが、WebBoxを利用すればより安全に自宅・大学間のパソコンでデータをやり取りすることができます。

情報教育 支援

Moodle

<http://www.setsunan.ac.jp/~center/moodle/>

Moodleは、Internet ExplorerやSafariなどのWebブラウザから講義の予習や復習などを行うことができるLMS(学習管理システム)です。

パソコンからだけでなく、スマートフォンやタブレットからも利用できます。ポータルサイトと同一のユーザーIDおよびパスワードでログインし、履修している講義のコースや公開されている自習課題コースを受講してください。

なお、情報メディアセンターでは、学生の皆さんのITに関する基礎知識や活用能力向上のため、Moodle上にITパスポート試験の過去問題集を作成し公開しています。ITパスポート試験はITを活用するすべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。ぜひ、空き時間にスマートフォンなどから利用し、資格取得の勉強に役立ててください。

moodle



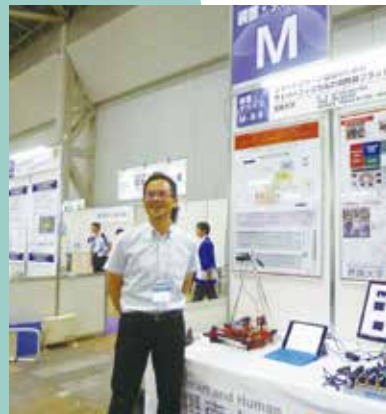
研究 支援

2017年度の研究成果
発表実績は下記
のとおりです。

支援を行っています。

多くの研究者に研究成果発表の場を提供できるよう、より一層の

2017年度研究成果発表会
研究支援・社会連携センターでは、産学連携を強力に推進するための産学マッチングの場として、大学から創出された研究成果の社会還元を促進し、産学連携への端緒となることを目的としたイベントに参加しています。
各イベントでは、ブース展示ならびにプレゼンテーションを実施。ブースには、多くの企業関係者などが訪れ、展示内容について詳しく説明を行いました。これらをきっかけとした共同研究も実施されており、今後



展示会場での
諏訪教授

出展名(出展期間)
発表者・発表テーマ

MOBIO

テーマ別
大学・高専合同研究

シーズ発表会

(2017年6月16日)

機械工学科

辻野良二教授

汎用新摩擦接合技術の
開発

イノベーション・ジャパン2017

(2017年8月31日~9月1日)

機械工学科 諏訪晴彦教授

スマートグリーン製造のための
サイバーフィジカル計測制御
プラットフォーム

ビジネス・エンカレッジ・フェア2017

(2017年11月8日~9日)

電気電子工学科 奥野竜平教授

Accessible Music Technologyの展開

機械工学科 川野常夫教授

簡単に正確な人の疲労チェック

ビジネスチャンス発掘フェア2017

(2017年11月29日~30日)

住環境デザイン工学科 岩田三千子教授

照明の相関色温度による夜間景観の演出に
関する研究 ーデザイン都市・神戸を対象と
した画像によるシミュレーション評価ー

スマートテクノロジー新技術説明会

(2018年2月15日)

機械工学科 堀江昌朗准教授

特殊プリズムと紫外線励起蛍光粒子を用いた
流れのスマート可視化技術



辻野教授の研究成果物
(摩擦接合継手)

就職内定者 インタビュー



後援会長あいさつ

【パネラー／協力してくれた内定学生11人】

- ・理工学部生命科学科 山本 海里さん
- ・理工学部住環境デザイン学科 河村 隆史さん
- ・理工学部建築学科 谷本 峻さん
- ・理工学部機械工学科 黒田 京香さん
- ・理工学部電気電子工学科 中田 和希さん
- ・理工学部都市環境工学科 松岡 修一さん
- ・外国語学部外国語学科 山口 摩海さん
- ・経営学部経営学科 南 知輝さん
- ・経営学部経営情報学科 小西 美菜さん
- ・法学部法律学科 西口 和生さん
- ・経済学部経済学科 飯塚 涼子さん

多くの保護者がご子女の就職活動に対して不安を感じておられる中、役立つ情報が得られてよかった」「学部学科別の内定学生との懇談会は細やかに話ができて参考になった」「家庭や子どもに応じた支援が必要だとわかった」といった感想を多数いただきました。参加型セッションなどの運営に関するご意見は、今後の改善に繋げて参ります。

筆記試験で落ちるのは もったいない!

法学部
法律学科 4年次
大迫 桜子さん

内定先

寝屋川市役所



SPIは 全問正解を狙うつもりで勉強

就活の筆記試験で落ちるのはもったいないと思います。3年次の11月から大学で公務員講座を受講したり、SPIが一番難しいといわれている問題集を解いたりして試験対策を万全にしました。SPIは全問正解を狙うつもりで勉強しました。同じ問題集を何度もやると答えを覚えてしまうので、解き方を理解したら図書館で別の本を借りて、数字が変わっても正解できればOKという進め方です。公務員と民間企業を併願していたのですが、すべての筆記試験に合格しました。決めたことに対しては常に行動を起こすタイプです。面接でPRになると考え、急きょ子ども向けテーマパークのインターンシップに参加したこともありました。ルールや平等なサービスの重要性を学ぶことができました。

厳しい面接官にも笑顔で

寝屋川市の1次の集団面接は、事前に提出したカードに「最近気になっていること」を「ひらパー兄さんのプロモーション」と書いていたので話題に上ったり、市の木が「桜」なので自分の名前にも触れたり和やかだった反面、2次面接は失敗しました。「簡潔に回答」と言われて本当に「〇〇です」と単語だけで短く答えてしまい、それに続く質問が来ると思っていたら少し間が空いて次の人の番になってしまったのです。「簡潔に」も理由まで付けて一つにまとめて答えるべきでした。諦めてWeb上の結果も確認しなかったら採用関係書類が送られてきて驚きました。複数の面接官にはそれぞれ役割があります。厳しく言う人のことも避けず、全員を見て笑いかけてください。

寝屋川市・・・

2019年度に中核市への移行を予定していて、今後さまざまなことに挑戦できる環境が魅力です。イベントのプロモーションに携わる仕事をしてみたいです。

教育現場での ボランティアは必須!

外国語学部
外国語学科 4年次
木村 彩夏さん

内定先

大阪府教育庁
(小学校教員)



高校時代に抱いた 教師の夢に向かって

高校時代の先生が私に夢や希望を持たせてくれました。JICAでのボランティアの話や写真から海外を身近に感じ、英語を勉強して子どもの可能性を広げられるような教師になりたいと思うようになったのです。そして先生の母校・摂南大学に入学し、国際協力が専門の同じ浅野教授のゼミに所属しました。中学、高校、小学校の教職課程を履修しながら、3年次からは週1回小学校の授業ボランティアにも通いました。教師を目指すなら現場でのボランティアは必須だと思うようになりました。子ども、先生、親御さんとの関わりなど、実際に経験しないと分からないことばかりだからです。私は大学の先生に紹介していただきましたが、小学校のホームページにも募集情報があるのでチェックしてみてください。

筆記試験を突破して面接の対策を

7月、大阪府の教員採用試験が始まりました。1次の筆記試験は点数でバツサリ切られるので、とにかく勉強するしかありません。2次は2人の面接官から教育実習での苦労や教師にとって大切なことなどを質問されました。人物像に注目しているようです。3次では3人の面接官を前に4分半の模擬授業をし、その後面接に移りました。福島原発事故に遭った子どもたちと参加した自然キャンプや、大学の实習で訪れたフィリピンの孤児院の子どもたちとの生活などのエピソードとともに、ストレス発散にもなっている社会人ソフトボールチームでの活動なども話しました。面接は、ボランティア先の小学校の先生が練習をしてくれたおかげで、事前に雰囲気慣れることができました。

小学校教員・・・

高校時代の先生との出会いで私の夢が明確になったように、子どもの世界を広げられる架け橋のような教師になりたいです。そしていつも「明るく元気」でいたいと思います。

特集

摂南大学流 就職活動

就カツ

2018年卒業予定者の就職活動は、採用スケジュールの変更が伴わなかった中、昨年度に増して内定数の高まりが早期化したことが大きく注目されました。このような状況のもと、内定を獲得した学生の皆さんの声を紹介します。



学長あいさつ



2017年12月10日、 OIT梅田タワーで「就カツ」保護者セミナーを開催

就職活動支援における学生と保護者のより良い関わり方をご理解していただくことを目的として、毎年開催している「就カツ」保護者セミナー。今年は140人を超える保護者の方々が参加。神田後援会長と八木学長のあいさつに続いて、第1部では「一緒に考えてみませんか？わが子が挑む就職活動」と題して参加型のセッションを行い、第2部はグループに分かれて内定学生との懇話会を実施しました。



第1部 「一緒に考えてみませんか？わが子が挑む就職活動」

今回のテーマは「就職活動の理解度チェック!」。どのように活動に取り組めばよいのか、企業は学生の何を観ているのかなどの問い掛けに、ご参加の皆さまにスマートフォンなどでお答えいただきました。併せて、11人の内定学生の就活体験を交えて解説も行い、今回初めて「保護者参加型」のセッションとして実施しました。

【コーディネーター／教務部キャリア教育推進室 水野武 講師】

★セミナーを通じて発信されたこと★

就活環境

売り手市場が続く中、経団連指針に基づくスケジュール(3年次生の3月に採用広報解禁→6月に面接選考開始→10月内定開始)によらず、早期かつ短期間に選考を行う企業が増加しています。企業のインターンシップ(就業体験)に参加し、直接企業の人事担当者と話せる機会を持つことは業界・企業研究に有効です。また、就活に慣れることは大切ですから、エントリーする企業は断続的にある方が良いでしょう。

企業が求めているもの

やはり、世事で伝えられているように、年齢・職業を問わずいろんな立場や価値観の人と対人関係を築けるか、集団や組織が掲げた目標に対して自分の役割を果たせるか、自分で目標を立てて取り組むことができるか、その企業で本当に頑張ってる働く覚悟があるかなどが選考で問われています。等身大の自分が伝わるように就活に臨みましょう。

第2部 「内定学生との懇話会」

学科ごと(一部は複数学科合同で)に分かれて内定学生との交流会を実施。保護者の皆さまからのさまざまな質疑に学生が応えました。

★学生の就活体験談から★

準備

インターンシップや説明会は、業界や職種を絞り込み過ぎず、幅広く参加することで、他大学の学生とも情報交換ができ、早めに就活スイッチが入る。インターンシップ参加も選考があるので、失敗からヤル気モードにも。学生・企業ともに互いの理解が深まり、就職後のミスマッチ防止につながる。選考時の面接の緊張感が和らぐ。インターンシップ実績企業から早期に内定が得られると自信や安心感に繋がる。

企業の絞り込み

自分の好きなこと＝軸があると活動しやすい。最初はボンヤリでも、興味を持ってそうな業界・企業のインターンシップや説明会に参加するうちに、相性を肌で感じられた。

選考

「志望動機」「自己PR」「学生時代に力を入れたこと」が面接必須設問。授業や部活動、アルバイトなどで「何をしたか」ではなく、「取り組み方」や「得た気づき」「身についた力」を中心に、人柄も含めて自分らしく伝えることが大切。自己PRは、企業により理念や求める人材が異なるので、いくつかパターンを準備して。

保護者との関わり

子どもが家で親に見せる顔と、外で見せる顔は違う。家では、普段通りの雰囲気でも過せると嬉しい。心配してくれているのは分かるので、距離を置いて見守ってもらいたい。人との比較ではなく、個性と良さを知る家族だからこそそのアドバイスもさり気なく。

〈具体例〉一緒に就活用品の買い物に行く。選考に落ちた時は明るい話題の会話をしてくれたり、好物の料理を作ってくれたり。雨の日などの送迎もうれしかった。面接の日に持たせてくれたお守りと手紙に感動。話は聞いてほしいが、あんまりヤイヤイ言わないで。

学生のうちに やりたいこと、 続けられることを見つけよう!

理工学部
機械工学科 4年次
塚本 佑汰さん

内定先

スズキ
株式会社

学生フォーミュラが中心の 大学生活

高校1年生の時、学生フォーミュラプロジェクトを知り、2年生でフォーミュラ活動のできる大学のオープンキャンパスを回り、摂南大学に入学した日には部室のドアをノックしていました。先輩たちは9月の「全日本学生フォーミュラ大会」に向けて忙しく必死です。私は邪魔にならないようマシンに関係のない材料を使って練習していたのですが、先生の指導やアドバイスがあり先輩たちも「こいつに頼めばやってくれる」と次から次に図面を回してくれるようになりました。そして、部品の改善・修復を重ねながら自動車の仕組みも勉強した結果、私たちの「S-Racing」はチーム初の耐久走行参加と完走を果たせました。この活動のメインスポンサーがスズキです。

インターンシップを経験し、 進みたい方向が定まった

フォーミュラ活動が忙しく、就活の遅れが気になっていました。焦りつつ3年次の1月、合同説明会に行き、車の部品メーカー2社のインターンシップに参加しました。その経験から自動車完成メーカーで一般の人が手頃に見える車両を作りたいという気持ちが強くなりました。フォーミュラプロジェクトでは、エンジン関係の部品をスズキの担当の方に発注する役割を負っていたので、その方に相談してから選考に進みました。内定をいただき、4年間の活動が認められた嬉しさが込み上げました。就活に当たって、学生のうちにやりたい仕事を見つけようと思いましたが、難しいなら続けても苦痛にならないことを見つけるのもいいと思います。そうでなければ書類は通過しても面接は厳しいです。

スズキ・・・

静岡県に本社や工場があり、私もこれから静岡での生活が始まります。卒業後、違う立場で再び学生フォーミュラプロジェクトに携われるような人材になりたいです。

人との関わりの中で 自分の良さを磨く!

薬学部
薬学科 6年次
山田 彩加さん

内定先

中外製薬
株式会社

インターンシップ先での アドバイスが転機に

在学中に自分自身が変わったきっかけがありました。5年次で参加したインターンシップでのことです。社員の方から「人それぞれ違った良さがあり、自分を飾らずありのままの良さを磨けばよい」と言葉を掛けていただいたのです。自信のなかった私が、そこからグループワークやディスカッションでも自分の意見を述べ、人の意見を聞き、話題の軌道修正や時間管理をして結論をまとめるまでの役割が果たせるようになりました。自己評価と他者評価は全く違っていることがあります。就活に限らず行き詰まることはあると思いますが、「自分というもの」を大切にしながら、他者の声にもきちんと耳を傾けることを後輩の皆さんにお伝えしたいです。

人や地域と関わって 情報を伝えられるMRIに

大学では薬理学研究室で難聴に対するサプリメントの研究開発を行いました。一人では追いつかない研究量も先輩や後輩と成果を共有して取り組み、学会で優秀ポスター賞をいただくことができました。バスケットボール部の活動やアルバイトも入学時から続いています。MRを志望した理由の一つに自己裁量権の大きな仕事という点があります。製薬5社のインターンシップに参加しましたが、社員の方に同行して実際現場に出る機会を通してその点を再認識しました。それには薬の説明と合わせて、人や地域と関わり自分が見つけた情報を伝える力が必要です。学生時代に多くの人と出会い学んだからこそ、自分と向き合えるようになりました。社会に出る前の貴重な経験ができたことに感謝しています。

中外製薬・・・

上市の製品力はもちろん、この先も新しい価値を創造し続け、世界中に革新をもたらすことができる「無限の可能性」を感じました。その新しい価値をより多くの人に届け、社会に貢献していきたいです。

大学での学びを大切に、 仲間と切磋琢磨を!

看護学部
看護学科 4年次
藤井 智絵里さん

内定先

国家公務員
共済組合連合会
枚方公済病院

病院見学会で 雰囲気の良い感じて

3年次の3月、大学と連携して実習先でもある枚方公済病院の見学会に友達と参加しました。看護師の方の説明を受けながら2時間ほど病棟を見て回ります。看護師さん同士の会話や対応の様子から温かい雰囲気、関係性の良さが伝わりました。救急医療が充実しているので、循環器系の救急に進みたいと考えていた私にとって本当に良い環境でした。別の病院見学にも参加した後、ここを第一志望として決意しました。4月下旬に面接を受け、5月上旬には無事内定の連絡をいただくことができました。高校生の時、看護師をしているところから仕事のやりがいや聞いて憧れた職業。大学の友達も一緒に内定し、同時に看護師のスタートが切れることは何より心強いです。

積極的な話し合いから 最適な看護を考える

救急医療の現場における看護師の役割について考えるようになったのは、実体験によるものです。身内が事故で救急搬送され、パニック状態で病院に向かった私は、看護師さんの「大丈夫?」という声掛けで落ち着くことができました。搬送直後で救命措置が優先される中、危機状態に陥っている家族への介入には、タイミングや声掛けの内容、具体的な情報の提供に対する配慮が必要です。3年次の領域別実習では、毎日のカンファレンスで皆が意識して積極的に意見を出し合いました。自分と違う他者の価値観にも向き合い、今の患者さんに対する看護計画を立てます。別の方法は状況が変わった時には最適となるかもしれません。大学ではそうした学びを大切に仲間と切磋琢磨してほしいです。

枚方公済病院・・・

1年間の研修でグループごとにいるような病棟を回った後、希望する配属先を聞いてくれるそうです。救急医療のさらなる充実のため経験を積んで、自分の目指すもの、果たせる役割をしっかりと担いたいと思います。

忙しい中でも時間を確保してリフレッシュ!

経済学部
経済学科 4年次
飯塚 涼子さん

内定先

UCC
上島珈琲株式会社



面接では「これだけは頑張った!」と言えるものを1つ

大学4年間続けたスポーツジムでのアルバイトの経験は、面接の自己PRで自信を持って話せました。土日の終日を含めて週3日勤務し、社員の方やお客様とのやり取りを通して提案力を身につけられたこと、お客様への有料チケット販売やホスピタリティスタッフとして全社1位になったことなど周囲の方にも恵まれて充実したアルバイト生活を全うできました。仕事なので楽しいことばかりでなく、時には厳しい言葉をいただくこともありましたが、それも次につながるヒントと前向きに捉えました。卒業研究では「新ビジネスモデルの提案」に取り組み、アルバイト先の協力を得た年代別アンケートを分析しました。就活を経験して、「自分が頑張ってきたことを伝えて認めてもらえた」という喜びは大きかったです。

後悔しないためには 早めの準備を徹底

大学生になって時間管理を心掛けるようになりました。過去の失敗を振り返ったとき、自分自身の準備不足に気づいたからです。就活中は特に複数の企業説明会や授業、アルバイトなどの予定が重なってきます。準備不足で後悔したくないという思いを貫いたことで、早めにエントリーシートを準備して、選考が課せられる人気のインターンシップへの挑戦もできました。就活中、時には強烈な圧迫面接に泣いて帰るほど落ち込んだこともあります。気持ちを切り替えるため、忙しくても自分の時間を確保してリフレッシュすることも大切にしました。私は1時間と決めて、ドラマを見るのが多かったです。行き詰まりがちな「自己分析」は、友達に「他己分析」をお願いして活用するのもお勧めです。

UCC・・・

世界的な人口増加に伴い、嗜好品のニーズが高まっています。将来性や安心して働ける環境、海外支店など国内外に広くチャレンジできる場所があることが大きな魅力でした。

今できる努力を 継続することが大切!

経営学部
経営学科 4年次
西田 聡さん

内定先

株式会社
池田泉州銀行



苦労した業界研究が 社会の仕組みの理解に

就活のスタートは3年次の2月でした。合同説明会に参加しながら、エントリーシートの書き方や面接の練習をして、いくつもの企業インターンシップに参加しました。さまざまな業界を視野に入れていたので、業界研究が一番時間がかかり苦労したと言えます。ゼロから知識をつけることは大変で、毎日毎日、新聞やネットを使って学習を重ねました。そうすると、途中から社会の仕組みが少しずつ理解できて面白いと思うようになったのです。その結果、選考時の面接でも他業界と比較した会話や時事の話ができ、質問に応じて自分の言葉として話せる流れができました。就活のために始めた業界研究が、自分自身の成長にも大きく生きています。

面接で「好きな言葉」を尋ねられた

人生の中で大切な「お金」について、意外にもまったく学んだことがない気づきました。私もお金で苦労した経験があり、苦しい立場の人をサポートできたらという思いで銀行への志望を固めました。池田泉州銀行の選考はWebテストの後1〜3次の面接を経ましたが、好きな言葉を尋ねられたことが印象に残っています。私はとっさにイチロー選手の「遠回りは一番の近道」と答えました。「失敗すること(遠回り)は無駄ではなく、次の挑戦につながる近道を見つけられる経験」という内容とともに自分の意思を伝えました。就活を通して思うことは、まず自分を振り返り、そしてこれからの自分を想像して、そのために今できる努力を継続することの大切さです。

池田泉州銀行・・・

独立系銀行だからその地域に合わせた商品サービスが魅力。頭取と職員がコミュニケーションを取れるというすばらしい環境の中、地元への還元と貢献ができるよう頑張りたいです。

最初から諦めずに 強い意志でチャレンジ!

理工学部
住環境デザイン学科
4年次
河村 隆史さん

内定先

大成建設
株式会社



小さなものづくりから 大きな建築物の現場監督へ

幼い頃のブロック遊びに始まり、その後も木工、鉄工と夢中になって毎日何らかの工具を持ってものづくりをして育ちました。工作が好きというだけで数学も得意ではないのにずっと以前から「理系」と決めていたほどです。就活のエントリーシートでも、好きな科目は一番じっくり「図工」と書いていました。大学で住環境デザインを学びながら、将来は建築と身近に関わることができる現場監督の仕事につきたいという気持ちが固まりました。そして大きな建築物、多くの人が利用する公共施設の建築を手掛けたかったのでスーパーゼネコンを志望しました。面接では入社後、一級建築士の資格取得を目指すという意気込みを伝えました。

諦めずにチャレンジすることの 大切さを知る

スーパーゼネコンを志望したもう一つのきっかけは、授業で先生がおっしゃった「なぜスーパーゼネコンを目指さないの?」の一言でした。大きな会社への就職に尻込みがちな私たちに、最初から諦めずに強い意志を持ってチャレンジする大切さを伝えてくれました。その思いもあって、インターネットで情報が得られる時代ですが、とにかく自分でいろんな会社に足を運び、話を聞いて、納得のいく道を探す就活をしました。インターンシップでは、真夏にマンションの建設現場を経験しました。屋外作業、上下階の階段移動、厳しい暑さ。ポスター1枚を貼るにも水平垂直を計測して1ミリのずれも生じさせません。就活を通して仕事に対する心構えも学び、迷いや後悔なく進められたことに満足しています。

大成建設・・・

スーパーゼネコン5社の一つです。手掛ける建築物の規模や会社の雰囲気の良い、そして施工の現場で働く摂南大学の先輩の生き生きとした姿に憧れました。

保護者のための 教育懇談会



全体説明の様子

後援会主催の2017年度秋期教育懇談会を昨年10月から11月にかけて、本学会場（寝屋川・枚方）、学外8会場（福井・京都・難波・奈良・岡山・米子・下関・高松）で開催しました。ご多忙の中、各会場合わせて

488組660名の保護者の皆さまにご参加いただきました。

一部ですが、参加された皆さまからのご寄稿や、よくいただくご質問などを掲載しています。来年度のご参加を教職員一同、心よりお待ちしております。



就職相談の様子

よくお寄せいただく

ご意見&ご質問



**個別懇談で
何を話せばいいのか分からない。**

懇談は、1組20分程度です。成績や出席状況などをもとに教員がご説明させていただきます。特に質問することがなくても結構ですので、お気軽にお越しください。教育懇談会を通して、多くの方に大学や教員との距離が近くなったと感じていただいています。

**個別懇談と就職相談の違いが
よく分からない**

個別懇談：所属学科の教員との懇談となります。ご子女の成績や進級・卒業についてのお話がメインですので、「教育懇談会にお申し込み」個人別懇談のお申し込みとご理解ください。

就職相談：就職部の職員との相談となります。ご子女の卒業後の進路や就職活動状況についてのお話です。
※学外会場では事前申し込み制となっておりますが、本学会場ではお申し込み不要ですので、お気軽に就職部にお立ち寄りください。

教員との個別懇談時間を
もつと長くしてほしい。

多くの保護者の皆さまと懇談させていただくため、1組当たりの個別懇談時間は20分に設定しております。

自由懇談でもお話しいただけますので、併せてご利用ください。

**申し込んだけど急遽
都合が悪くなった場合は？**

必ずお電話にてご報ください。
ほかの保護者様の個別懇談の時間、順序に影響が出ますので、やむを得ず遅刻や欠席される場合は、分かった時点で必ずご連絡をお願いいたします。



自由懇談の様子



京都

今回、初めて教育懇談会に参加させていただきました。薬学部4年次となりましたが、自分は薬剤師となり本当に社会貢献できるのか、この時期になって急に不安を抱き始めた子どもの姿に、親としてどのように接したらよいのか悩み、参加しました。

会場では、先生方のほか後援会役員の方や保護者の皆さんとも悩みを話すことができました。皆さんからのアドバイスをもとに、また子どもとゆっくり話し合っていきたいと思いました。先生との個別懇談では、多面的に子どもの姿を捉えてくださっており、どのようにすればもっと子ども自身の力が発揮できるのか、親身になってお話しいただきました。今後も実習や薬剤師国家試験など、乗り越えていかなければいけないことがたくさんありますが、今回お話を聞かせていただいたことで、少し親としての不安が和らぎました。ぜひ次回も参加させていただきたいと思います。

参加された
保護者の皆さまの
ご感想

下関

我々の学生時代にはなかった教育懇談会に、夫婦で出席しました。個人懇談では、子どもの学業成績や生活態度について、先生から事細かに伺うことができました。中学校・高校の三者面談のように、本当に親身になっていただき、種々のアドバイスをいただきました。自由懇談では、和やかな雰囲気の中で、先生や6年次の保護者の方々と欲談でき、本当に有意義な時間を過ごすことができました。改めて摂大へ入学させて良かったと感謝しております。

今回の教育懇談会も本当に楽しみです。ぜひ、保護者の皆さまも奮ってご参加ください。

福井

子どもから大学生活の話聞く機会が少ないため、大学での様子が少しでも分かればと、自宅から一番近い福井会場を選び、参加しました。最初は緊張しましたが、後援会の役員の方々から気さくに話し掛けていただけたので、和やかな雰囲気になりました。またその役員のお子さんが、息子と同学部だったので、2年後・3年後の様子を聞くことができ参考になりました。自由懇談では、学部長や先生方から、子どもたちに必要な資質や能力、他学部との連携の実状、就職状況などさまざまな話を聞くことができました。子どもがこの大学で多くを学び、社会を担う人に育つことを願うとともに、その可能性も感じました。

今回の春期教育懇談会では大学へ行って、同学年の保護者の方々と話してみたいと思います。

奈良

今回初めて参加させていただきました。4年間のうち1度は参加させてもらおうと思っていました。息子は、わりと大学生活のことを話してくれる方ですが、担任の先生と話をし、知らなかった一面を知ることができて良かったです。

食事の時には、先生と会話をさせていただき、リラックスして過ごせましたし、今後の大学生活を送る上での過ごし方など、とても勉強になりました。

米子

今年も学外会場で参加しました。1年次の時から毎年学外会場に参加し、大学関係の方や他学生の保護者の方と話をすることで大学生活への不安が減り、この大学に子どもが入学して良かったと感じています。子どもには、自ら求める道を一途に追い続け、後悔しないよう学んでもらいたいと思います。また参加したいと思います。

家計が急変し、学費の支払いに困った場合は

奨学金・教育ローン・学費減免・アルバイト等のご案内

区分	名称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構奨学金(JASSO)の緊急/応急採用	必要
	②貸与金額の増額(すでにJASSO奨学生の場合)	
	③地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	①国の教育ローン	必要
	②本学との提携ローン	
学費減免	学費減免制度(※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO支援金(自然災害等により住居に被害を受けた場合)	不要

不慮の事故や災害等により家計が急変し、
学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内いたします。

●申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。
また、募集案内や説明会等、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせしますので、情報を見落とさないようにしてください。

アルバイトのご案内

パソコンや携帯電話からいつでもどこでも安心な求人情報が
入手できるサービスを提供していますので、有効に活用してください。

●利用にあたっては、(株)ナジックへのアルバイト登録が必要です。
登録希望の方は、本学のHP⇒学生生活⇒「学生マンション・アルバイトについて」から
手続きしてください。

◀本学HP 後援会ページ:<http://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html>▶

2018年度 入学宣誓式を行います！

—「つながる」がキーワードの新入生参加型企画—
摂南大学5000人のアクティブ・ラーニング

日時
2018年4月4日(水)
13時～

場所
大阪城ホール
(大阪市中央区)

『音楽座ミュージカル』というミュージカル劇団とコラボして、
入学宣誓式に参加している新入生・保護者・在学生・教職員の5000人で、
大学での学びを体験してもらう企画を実施します。
ほかにも新入生の皆さんの気持ちが高まり、
楽しく大学生生活のスタートを切っていただけるよう願って、
「つながる」をキーワードにしたさまざまな企画をお届けします。



※写真は2017年度入学宣誓式の様子

スポーツ振興センター横山喬之講師が 柔道世界形選手権で4連覇

昨年10月6日・7日にイタリア・サルディーニャ島で開催された柔道の
世界形選手権大会で、日本代表選手として出場した本学スポーツ振興
センターの横山喬之講師が「投(なげ)の形」で金メダルを獲得し、見事
4連覇を達成しました。



表彰台に立つ横山講師(左から3番目)

「投の形」を披露する日本代表



2017年度 学位記授与式

日時:2018年3月23日(金) 11時～
場所:寝屋川キャンパス 総合体育館

2018年度「All 摂南大学 Day」を開催します

日時:2018年9月2日(日) 13時～【予定】
場所:京セラドーム大阪(大阪市西区)

プロ野球「オリックス・バファローズ 対 埼玉西武ライオンズ」戦を、
摂南ファミリー(卒業生、在学生、受験生とご家族等)が集う
ホームカミングデイ「All 摂南大学 Day」として開催します。詳細は
7月頃、本学ホームページでお知らせします。

さ
や
け
き

「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいる
などの意味を表します。大学歌に「学風さやけき
摂南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さ
あふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

表紙の人

(左から)金光寛樹さん、篠原七々実さん、長谷川由佳
さん、上山耕平さん

経済学部 植杉ゼミに所属する3年次生。昨年11月の
「第13回日銀グランプリ〜キャンパスからの提言〜」決勝
大会で、「健康通貨『WReC(レック)』〜地域の魅力も
“一歩”から〜」のテーマで発表を行い、見事最優秀賞に
輝きました。(本誌P3でも紹介しています)

